

蛭ヶ岳山荘通信 第74号

発行日 令和元年5月25日
発行者 北丹沢山岳センター
事務局 神奈川県相模原市緑区小淵 1545-1
TEL042-687-4011 FAX042-687-3980

蛭ヶ岳山荘 春の荷上げ4月15日実施

春の恒例行事である蛭ヶ岳山荘の荷上げは平成31年4月15日に行われました。風雨などに翻弄されてしまう荷上げですが、今回は天候に恵まれ、予定日初日に完了することができました。これで春夏のお客様をお迎えする物資が無事に供給されました。おかげさまで蛭ヶ岳山荘は東城進紀さんと樋詰順郎さんの二人の管理人体制と多くのサポーターによって支えられています。



北丹沢ハイカーの足・路線バス 2019/4/1～廃止される

や01 やまなみ温泉～奥相模湖～東野系統等の路線廃止について(3/31実施)

日頃より、弊社バスをご利用いただきましてありがとうございます。
相模原市緑区牧野地区の交通体系について、従前より相模原市地域公共交通会議にて協議してまいりましたが、この度、交通体系を整理し新たな公共交通へ移行することとなりました。
これに伴い、相模原市の生活交通維持確保対策補助により運行しております、やまなみ温泉発着の下記系統について、2019年3月31日(日)をもちまして、路線を廃止いたします。
長年のご利用にお礼申し上げますとともに、現在ご利用いただいているお客様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解の程お願い申し上げます。
また、廃止区間における相模原市の新たな取り組みについては下記リンクよりご確認ください。

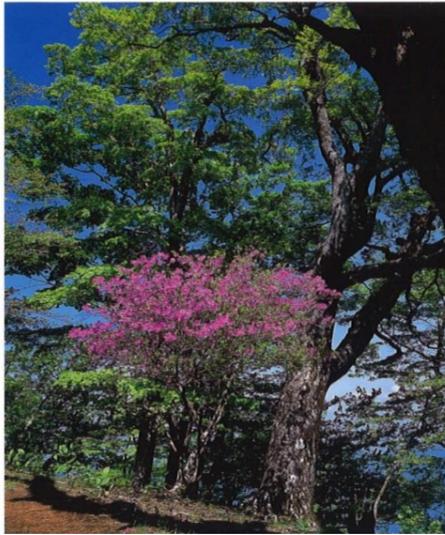
記

1. 廃止系統
や01 やまなみ温泉～奥相模湖～東野
や02 やまなみ温泉～釜の沢～萩原
や03 やまなみ温泉～いやしの湯～東野
や05 やまなみ温泉～萩原～赤沢

※牧野地区における公共交通の見直しについて(相模原市HP)

お問合せ先
神奈川県中央交通西(株) 津久井営業所 TEL 042-784-0661
相模原市交通政策課 TEL 042-769-8249

令和元年・蛭ヶ岳開花情報 東国みつばつつじ・シロヤシオつつじは？



今年の蛭ヶ岳山頂の天候は5月になってからも安定せず、期待の東国みつばつつじやシロヤシオつつじも今現在、まだ蕾の状態です。姫次でわずかに東国みつばつつじが咲き始めたところです。蛭ヶ岳山頂の現在はマメザクラが満開です。東国みつばつつじやシロヤシオつつじは例年よりも全体的に1～2週間の遅れとなりそうです。見頃はこれからの花たちが、山頂で皆様のお越しをお待ちしております。 写真提供：白井源三氏



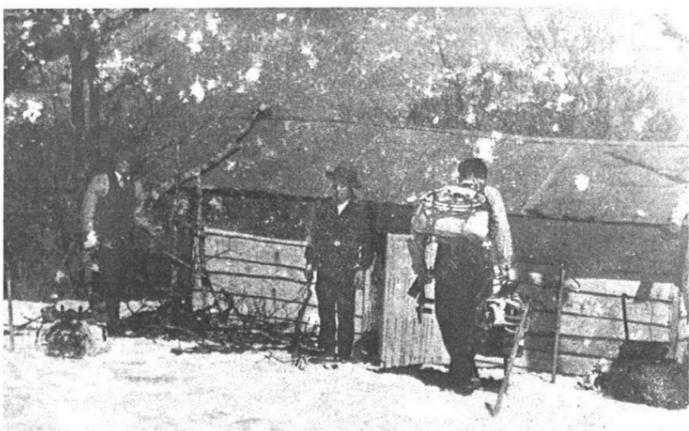
蛭ヶ岳山荘友の会 会費納入のお願い

蛭ヶ岳山荘友の会 会費は一年間1,200円です。

振込先：郵便為替 口座番号 00270-5-12716

口座名義：蛭ヶ岳山荘友の会

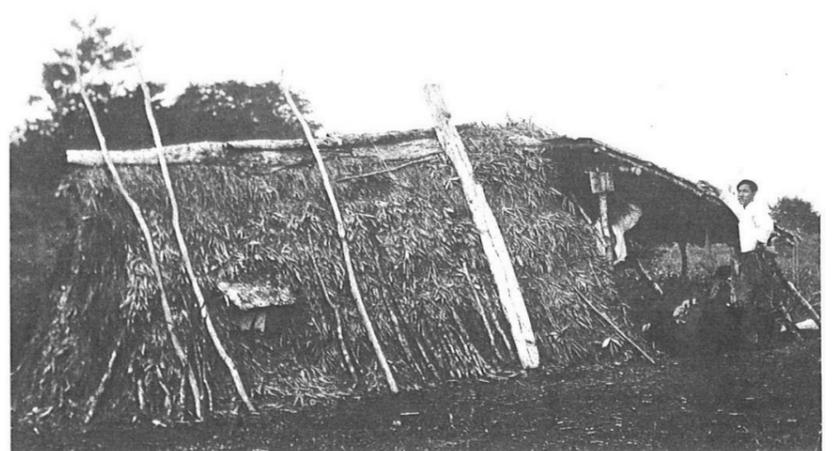
会員拡大にもご協力いただければ幸いです。蛭ヶ岳山荘友の会 事務局



蛭ヶ岳山頂の小屋 昭和5(1930)年頃、横浜山岳会会員・石田兵一氏(故人)撮影

錦司先生(故人)と昭和五十(一九七五)年四月に蛭ヶ岳に登った。先生の三角点好きは有名で、頂上では三角点をなで乾杯、全員で万歳

32 昭和初期の小屋
草がけがびったり
丹沢山塊で登山者用に最初に建てられた山小屋は、昭和十四(一九三九)年の塔ノ岳(二四九メートル)山頂の尊仏小屋である。
しかしそれ以前にも、雨露をしのぐ草がけの小屋はあった。山仕事などでつくられたようであるが、横浜山岳会の古い会報などを見ると、登山者もけっこう利用していた。塔ノ岳山頂にもあったというが現在、写真で確認できるのは、最高峰・蛭ヶ岳(二六七三メートル)と丹沢山(二五六七メートル)の小屋である。
蛭ヶ岳山頂の小屋の写実は、昭和初期に撮影されたものである。横浜山岳会六十周年記念誌には「津久井郡の三村共同で作った山小屋。床もなく雨よけの簡単なもの」と記されている。中央に三角点が見えるが、エピソードがある。文化勲章受章者で日本山岳会会長だった今西



丹沢山の草小屋 昭和5(1930)年頃

するのが恒例だった。だが、どこを探しても三角点は見つからず、ご機嫌斜めの先生が万歳することはなく、困ってしまった。
実は昭和三十五(一九六〇)年、神奈川県により山頂に蛭ヶ岳山荘が建設されたが、その頃から三角点分がなくなっていた。山荘は平成九(一九九七)年十一月に建てかえられ、北丹沢山岳センターの杉本憲昭さんが管理している。杉本さんに今西先生の話をしたところ三角点を探してくれ、山荘入り口近くの薬師堂そばにあることが確認された。
薬師さまが祀られていることから薬師岳とも呼ばれるが、「蛭」の名は諸説ある。山容が毘盧帽子(とんがり帽子)に似ている、木地師の聖地「蛭谷」に関係している、山ヒルが多い、などである。
丹沢山の小屋は、草がけという言葉がびたりしている。写っているのは丹沢の開拓者・坂本光雄さんと横浜山岳会会員・田杭安太郎さん(故人)だが、撮影者は判然としない。現在、山頂にあるみやま山荘は昭和三十五(一九六〇)年、秦野市で写真店を営んでいる岩田伝三郎さんが建てたものである。